つつじヶ原広域トレイル

Tsutsujigahara Nature Trail Expended Route Map



阿寒摩周国立公園

Akan Mashu National Park

アトサヌプリ（硫黄山）麓を歩く

アトサヌプリ（硫黄山）の麓にはアカエゾマツの森、つつじヶ原自然探勝路、青葉トンネルと 3 つの散策路があります。それぞれに特徴があるため、どこか 1 か所だけでも楽しむことができますが、3 か所を通して歩くことで、アトサヌプリ（硫黄山）の麓に広がる火山でできた特殊な自然環境をより深く感じることができるようになります。

特に注目したいのは、川湯からアトサヌプリ（硫黄山）まで起伏が少ないにも関わらず、まるで登山をしているのかのような植生の変化があり、アトサヌプリ（硫黄山）から川湯温泉駅に向かうと急に広葉樹の森になっていく様子は他に類を見ない景観となっています。

ちょうど川湯温泉街から JR 川湯温泉駅をつなぐ散策路にもなるため、移動手段として活用してもいいですし、片道は公共バスを利用して周回してみるのもいいでしょう。

周囲の景色や動植物を観察しながら、歩きに出かけてみるのはいかがでしょうか。

アカエゾマツの森

アカエゾマツの森に一歩、踏み込むとどっしりとした森の雰囲気を感じることができます。

川湯のアカエゾマツは摩周岳と硫黄山の噴出によって放出された軽石や火山灰が降り積もった大地に一斉林として生育しています。その芽吹きは 200～250 年ほど前と言われており、長い年月をかけて純林を作ってきました。

土壌生成の途中段階にある未熟土になっていて、礫が多く、酸性の傾向があります。地面が柔らかく肥よくな土のように感じられますが、これはアカエゾマツの葉が体積したものです。



つつじヶ原自然探勝路

川湯ビジターセンターからアトサヌプリ（硫黄山）の麓を繋いでいるのがつつじヶ原自然探勝路です。

歩き始めると、始めはアカエゾマツ、ミズナラ、シラカンバなど、針葉樹と広葉樹が混ざった森を歩いていきます。

しばらく行くと、景色は一変し、高山性の植生が広がります。つつじヶ原の標高は 150m ほど。そこにハイマツ、イソツツジなどの高山植物が広さ 100ha に渡り自生しています。

これは噴気孔から噴気する硫化水素などの火山ガスや強酸性を示す土壌によるもので、この厳しい環境に耐えられる植物が生態系を展開しています。

なかでもつつじヶ原の名前の由来でもあるイソツツジの群落は、6 月上旬から中旬にかけて、一面に白い花を咲かせ、散策者を楽しませてくれます。

ハイマツも、高山では厳しい環境のため、樹高が高くなることは少ないですが、標高が低いつつじヶ原では風雪の影響も少ないため、背丈が高くなるのが特徴です。

アトサヌプリ（硫黄山）の手前まで近づいてくると、強過ぎる酸性土壌で、ハイマツが枯死した後も腐敗することなく、その場に残り続けている姿を見ることができます。

そして最後は、植物が自生することができないほど強い影響を受けているアトサヌプリ（硫黄山）へと入っていきます。

この特有な自然環境から、阿寒摩周国立公園の中でも特に厳重に景観の維持を図る必要のある地区としてアトサヌプリ（硫黄山）やつつじヶ原は特別保護地区に指定されています。



川湯ビジターセンター



開館時間

4 月～ 10 月　8：00 ～ 17：00

11 月～ 3 月　9：00 ～ 16：00

休館日

毎週水曜日（7 月第 3 週～ 8 月 31 日は無休、水曜祝日の際は翌日）

年末年始（12 月 29 日～ 1 月 3 日）

入館料　無料

088‐3465

北海道川上郡弟子屈町川湯温泉 2-2-6

TEL　015-483-4100

FAX　015-483-4111

https://www.kawayu-eco-museum.com/

アトサヌプリ（硫黄山）

アトサヌプリ（硫黄山）では現在も、モクモクと噴気が上がっており、噴気孔の数は大小合わせて 1500 以上もある活火山です。

ガイドツアー以外、登山は制限されていますが、麓の噴気孔までは近づくことができます。噴気孔に近づくにつれ、強い硫化水素の匂いを感じますが、水蒸気が 98%程度で、火山性ガス（硫化水素、他）は２%程度しか含まれていません。その数パーセントから、噴気孔周りでは昇華イオウの針状結晶が成長し、大きな黄色の鉱物を間近に見ることができます。

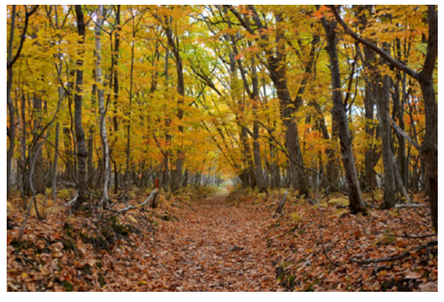


青葉トンネル

“トンネル” といっても一般的な道路にあるものとは違い、木々が頭上を覆うように生い茂っている自然のトンネルです。初夏には新緑、秋には紅葉が楽しめます。

もともとは明治時代、硫黄採掘時に硫黄を運搬するために鉄道が敷かれたことから始まり、鉄道が廃線になった後は地元の人々が硫黄山へのハイキングコースや交通のために利用していました。

現在ではルートが多少変わり、硫黄山レストハウス裏から JR 川湯温泉駅前までの約 0.9km の間を青葉トンネルと呼んでいます。



周辺の植物



ハクサンシャクナゲ



ノリウツギ



アカエゾマツ



ハイマツ



ギンリョウソウ



ヤマドリゼンマイ



ガンコウラン



イソツツジ



ゴゼンタチバナ